



令和5年5月2日
(一財)海上災害防止センター

モーリシャス国 OSPRM Experts 研修の開催について

一般財団法人海上災害防止センターでは、令和5年4月12日(水)から26日(水)までの2週間、独立行政法人国際協力機構(JICA)の技術協力プロジェクトである「モーリシャス国流出油対応に係る体制能力強化プロジェクト」の一環として、当センター横須賀研修所においてOSPRM Experts*研修を開催しました。

*Oil Spill Preparedness and Response Management Experts：流出油事故への準備及対応の管理に係る専門家

本研修は、モーリシャス国の持続的な流出油対応に係る体制能力強化を担うためのキーパーソンとなる「OSPRM Experts」の育成を目的としており、流出油事故対応の主たる責任行政機関であり、流出油事故に係る国家緊急時計画に基づく海上・陸上における各防除活動機関及び総合調整機関として、海上を所掌するNational Coast Guard (NCG)から2名、陸上を所掌するSpecial Mobile Force (SMF)から2名、事故全体を統率するMinistry of Environment, Solid Waste Management and Climate Change (MoESWMCC)から3名の合計7名の職員が研修に参加しました。

今回の研修では、流出油事故対応の基礎から応用、管理や事前計画の策定から地域協議会の導出、結成までのノウハウを習得し、今後はさらに、引き続き本プロジェクトにおいて当センター専門家がモーリシャス国を訪問して、現地踏査、海域調査のほか図上演習、実践訓練を含む現地研修等を協力・支援し、「流出油対応計画図(TSF)」の最終化に携わるなどオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)を行うとともに、モーリシャス国内においてOSPRM Expertsによる訓練の実施を計画しています。



OSPRM Experts 研修開講式



研修生によるカントリーレポートの発表



人工海岸での実油を使用した油防除回収訓練



沖合での油防除回収訓練



実際の海岸（葉山一色海岸周辺）を踏査し、
環境情報等を収集



収集した環境情報等を基に流出油防除計画を立案



事故管理システム（Incident Management System）
を使用した流出油対応の図上演習①



事故管理システム（Incident Management System）
を使用した流出油対応の図上演習②



OSPRM Experts 研修の参加者（修了式後）